

ものづくりの原点がある⑤

自在につくる。 製品も会社の未来も。

安田 慧 (25歳)

❓ 入社のも機は？

体を動かし、汗を流して働く仕事をしたいと思っていました。「働く実感」を求めていたのだと思います。

そんな要求を満たせそうな会社を何社か探し出して、どれにしようかと。

で、最後は初任給の高さで決めました(笑)

❓ 実際に入社してどうでしたか？

「働く実感」は、期待以上でした(笑)

熱いし、つくっているモノはでかいし、キレイとは言い難い職場で汗にまみれて働いているし(笑)

しかし仕事のやりがいや面白さも想像以上。職場の人間関係や居心地にも満足しています。

❓ 今の仕事は？

7年目になりますが、ひととおり全ての工程を経験してきました。今は「造型(鋳型を作ること)」工程で「主型」の製作を担当しています。

主型は鋳物の外形を形作る砂型のこと。製品と同じ形状の模型(木製)の周りに砂を突き固め、かたどりをします。

今は4人のリーダーとして、作業を指揮しています。当社の製品は大きなものばかりなので、鋳型も大きい。一品一品異なるカスタムメイドの製品が多い。製品の形状をしっかり理解し、チームで息を合わせて「せーのっ！」で作っていく。



こうした「みんなで作る」ところも、この仕事の好きなのところのひとつです。

❓ どんなところにやりがい？

鋳造が面白いのは、どんな形のものでも作ることができること。年々、製品の形状は複雑化し、多品種少量生産化していますが、一つ一つの型を手込めで作る当社のやり方は時代のニーズに合っている。

当社の仕事のスタイルは、一人一人が自立した職人として、自分で考えながら、みんなでチームワークを取りながら一つのものを作り上げるというやり方。指示待ちじゃない、歯車じゃ

ない、自分で動く——そういう働き方が好きな人に向いている職場だと思います。

❓ これからどんな仕事を？

鋳造技術をもっと極めていきたいという思いもあるし、また営業に出て、新しいお客さんを開拓したり、これまでメインでやってきた工作機械以外の分野にも当社の技術を売り込んでいきたいという思いもあります。

いずれこの会社の経営を引き継ぐ若野貴信さんを含め、これから仕事を担っていく20~30歳代の若手で知恵を出し合って、強い会社、より良い会社を作っていきたいと思っています。

